

彦根統合新校 応募校名一覧

○ 応募総数 116件 応募校名数 92点

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
1	彦根芹川	ひこねせりかわ	芹川のように、普遍的な存在感、さらには時代の流れに対応できる若者に成長するようお願いを込めた。
2			芹川のほとりに位置する学校だから素直な気持ちで付けた。
3			両校が芹川のほとりにあり、川の流れと共に移りゆく四季を感じ、勉学に励んでほしい。
4			歴史ある芹川のように新校も長く歴史を積み重ねてほしいという思いを込めた。
5		(記入なし)	
6		ひこねせりがわ	芹川が隣に流れていて、地域的によくわかる。
7			彦根の地名であり、立地から考えて付けた。
8	彦根	ひこね	彦根なのに彦根高校がないから。
9			彦根を代表する県立高校になって欲しいという思いから。
10			伝統ある2校が統合して、今後は彦根を代表する高校になってほしい。
11			戦後間もなく東、西、南各校舎を持つ「彦根高校」が存在。今回、西高と、かつての南校舎の地にある翔陽高校が統合されることにより、新校から豊かな人間性を備え、社会に貢献できる若人が育つことを願って。
12			彦根で共通している。守山高校や米原高校、大津高校があるが、彦根高校がないのは不自然。
13	芹川	せりかわ	両校とも芹川にゆかりが深い。新校が地域に根ざし、伝統を礎に、郷土の未来のために飛翔せんことを期して命名。
14			芹川のほとりにあるから。
15			地域に貢献する人材を育成する高校、地域に密着した高校をイメージ。
16			この地にちなんだ名称であり、新校として呼びやすく、なじみ良い名前であるから。
17	翔陽	しょうよう	この名前が一番だから。
18			翔陽という名前をなくすのが惜しい。いい名前だから。
19			翔陽高校の校地にできること、母校の名がなくなるのは寂しいと思うから。
20	彦根城南	ひこねじょうなん	彦根のシンボルが彦根城であることと、新校舎が彦根城の南側に建設されることから。
21			(記入なし)
22			彦根城の南に位置する高校という意味。
23	彦根西	ひこねにし	西高校は歴史も古く、翔陽高校の前身でもあり、統合した時は本来の彦根西高校に戻しても良いと思う。
24			自分が卒業する学校の名前を残したいから。
25			自分たちが卒業する学校の名前を残したいから。
26	彦根西翔	ひこねさいしょう	西と翔の頭文字を使うことで、互いの高校のことを思い出せそうだから。
27		ひこねせいしょう	両校から1文字ずつをとって付けた。夕日に向かってはばたくとは青春を連想。言いやすく響きが良い。
28	彦根翔西	ひこねしょうせい	両校の1文字ずつを取る。合併後も名が残ってほしいから。
29			太陽は東から昇り、西に向かって翔る。その太陽のように目標に向かってはばたこうという意味をもつ。
30	彦根翔陽	ひこねしょうよう	彦根翔陽は創立してまだ13年で、頻繁に名称変更すべきでない。翔陽の目標等は西高に重なるのでそのまま良い。
31			良い校名だと思うし、校名変更による経費を抑えるためそのまま良い。
32	彦根西陽	ひこねせいよう	西と翔陽の校名を合わせることで両校の伝統を継承できる。琵琶湖の夕陽がイメージでき、響きもよい。
33			西高は120年続いた歴史ある学校。翔陽も生徒の将来を考えて付けた校名だと思うので、両校の一文字を使用。
34	彦根第一	ひこねだいいち	統合が進む中、彦根の地で新たな統合高校の第一校目として歴史に刻む意味を込めて命名。
35			彦根で一番の高校を目指すことから。
36	旭ヶ丘	あさひがおか	「旭」という文字が「翔」や「陽」に通じるものがあり、近くに旭森小学校があることから。
37	桜才	おうさい	桜の木のように一人ひとりの才能が咲き乱れてほしい。
38	近江総合	おうみそうごう	地域に根ざした近江商人の魂を受け継いで前進するように。
39	慶城	けいじょう	新しい学校ができ、めでたいから。彦根市の象徴。
40	弘道館	こうどうかん	彦根藩の藩校の名称。
41	心愛	ここあ	学校を心から愛してほしいため命名。
42	湖東学園	ことうがくえん	琵琶湖の東にあることから、全県から生徒が集まってくるイメージ。学園は楽しく学ぶ学校の意。
43	湖東総合	ことうそうごう	名前を聞けば、すぐにどの地域のどんな学校か連想できる校名とした。
44	佐和山	さわやま	歴史的にも有名な佐和山城にちなんで考えた。
45	滋賀総合	しがそうごう	滋賀県を代表する大規模総合高校をめざしているから。
46	翔笑	しょうえい	生徒一人ひとりの笑顔が輝く学校にしてほしいから。
47	翔西総合	しょうせいそうごう	翔陽と西高の統合。
48	翔西館	しょうせいかん	両校の名を残したい。皆が共に仲良く学習に励めるような意味を込めて「館」と付けた。
49	翔南	しょうなん	彦根の南だから。
50	城南総合	じょうなんそうごう	彦根城のように後世まで愛される学校であって欲しいという願いと、城の南に位置することと学科名をとり校名とした。
51	新栄	しんえい	新しい高校が勉強やスポーツで新たに栄えることを望んで付けた。
52	星明	せいめい	星のように明るく輝く生徒になってほしいから。
53	西陽	せいよう	西高の西と翔陽の陽を合わせた。響きがカッコイイから。
54	芹川総合	せりがわそうごう	両校とも芹川の近くに学校があるから。
55	淡海	たんかい	「おうみ」とも読める「淡海」とした。
56	淡海総合	たんかいそうごう	彦根西高校の前身が「淡海」であり、それにちなんで付けた。
57	天翔総合	てんしょうそうごう	天に向かって羽ばたく日本一の総合学科。
58	彦根旭	ひこねあさひ	人の胎動期にあたる高校生活は、昇る朝日の方をめざして過ごさなければならないという願いから。
59	彦根不知哉	ひこねいさや	万葉集にも登場する芹川の古称を「不知哉(いさや)」というところから。
60	彦根オプショナルホープ	ひこねおぶしよなるほーぷ	各自の選択科目と目標によって生き生きと学習するように。

NO	校名	よみがな	校名を付けた理由(要約)
61	彦根学陽	ひこねがくよう	彦根西の「学びの共同体」の「学ぶ」と彦根翔陽の「陽」とった。あたたかく学ぶことを意味する。
62	彦根輝進	ひこねきしん	生徒が輝きながら、自分の道を進んでいけるような学校であってほしいという願いをこめた。
63	彦根究修館	ひこねきゅうしゅうかん	「わくわく・どきどき」学習活動を通じて、知と技を深く究め、「いきいき・のびのび」世に立つ業を修め、新しい時代にえられる「館」になってほしいという思いを込めて名付けた。
64	彦根暁星	ひこねぎょうせい	明けの明星、夜明け前、希望を育む新しい学校として良いのではないかと考えた。
65	彦根芹桜	ひこねきんおう	新校の前身にゆかりが深い、芹川とその堤の桜にちなんで命名。
66	彦根光明	ひこねこうめい	未来の子供達が明るく太陽のごとく強く生きていける世の中になっていくことを祈って考えた。
67	彦根湖城館	ひこねこじょうかん	琵琶湖と彦根城という滋賀県の代表的な大景観を舞台として、大きく発展するよう願いを込めた。
68	彦根彩華	ひこねさいか	翔陽のように一人ひとりの個性を大事にし、行きたい道に進めるような学校であってほしいから。
69	彦根桜ヶ丘	ひこねさくらがおか	読みやすく、言いやすく、親しみやすい校名で、希望で胸ふくらむ桜満開の春をイメージした。
70	彦根実業	ひこねじつぎょう	「業が実る学校」という願いを込めた。伝統校ならではの校名になると思う。
71	彦根翔桜	ひこねしょうおう	新学期の新たな気持ちを持ったまま高校生活を翔るように送れる学校。桜が咲いたように笑顔の生徒が増えるように。
72	彦根城桜	ひこねじょうおう	城下町であり、桜の木が象徴的な校地で良い立地条件にある。
73	彦根城下	ひこねじょうか	歴史を誇りに思い、国宝彦根城といえば滋賀県の高校であると即座に皆が分かるはずということから。
74	彦根翔南	ひこねしょうなん	「翔」を残し、旧校名の南を合わせた。個性を伸ばし翼を広げて社会に役立つ人間になってほしいという願いから。
75	彦根新生	ひこねしんせい	生まれ変わった新しい気持ちで新入生を迎え、自らの進路の出発点とする意味を込めた。
76	彦根翠翔	ひこねすいしょう	「翠」は、生徒たちが自ら芽吹き、将来の成長を意味し、新校のコンセプトに合致。「翔」は大きくはばたき、総合学科の継承も意味。両文字に「羽」がつくのも未来に向かってはばたく意味で生徒の大きな成長を期待させる校名。
77	彦根翠松	ひこねすいしょう	彦根は琵琶湖松原と彦根城の松。色鮮やかに雄雄しく発展していくことを願って命名。
78	彦根青雲	ひこねせいうん	「青雲の志」の青雲。高い理想を持って学習と部活動に励む。
79	彦根成栄	ひこねせいえい	彦根の地で自分のため、世のために生きていける人になり、人生が栄えるという願いを込めた。
80	彦根清翔	ひこねせいしょう	清らかな心を持ち、学校生活をかける思いを込めて付けた。
81	彦根成章	ひこねせいしょう	両校の音を基に、西—セイ 翔—章
82	彦根星城	ひこねせいじょう	星のごとく輝く人生が送れることを祈り、良き人材となって社会人や学生としてはばたいていくことを願って命名。
83	彦根西翔学館	ひこねせいしょうがくかん	両校の名前を残し、滋賀には「学館」という校名がないので、インパクトのある校名となる。「学びの共同体」を主としている西高校の思いを受け継ぐために「学びの館」という意味も込めた。
84	彦根西南総合	ひこねせいなんそうごう	彦根西高校と翔陽高校の前の校名彦根南高校との名前を合わせた。
85	彦根清明	ひこねせいめい	翔陽の「清く明るい心」を引き継ぎ、地域に信頼される高校として発展するという期待を込めた。
86	彦根清和	ひこねせいわ	すべての生徒が一つになれること、清らかな心をもって学校生活を送ってほしいという願いを込めた。
87	彦根碩誠	ひこねせきじょう	新校が「碩学」「碩人」「碩徳」といった言葉がふさわしい多くの人材が育っていく高校になって欲しいという願いから。
88	彦根太陽ヶ丘	ひこねたいようがおか	明るく力強いイメージの校名とした。「翔陽」の「陽」の字も残すことに成功した。
89	彦根中央	ひこねちゅうおう	卒業生、在校生の思いを中心にひとまとめにし、南高と西高を「中央にまとめる」という意味の校名とした。
90	彦根中部	ひこねちゅうぶ	彦根市の中部に位置し、街の真ん中にあり、中心となる高校に発展する願いを込めて命名。
91	彦根統修	ひこねとうしゅう	統合されてさまざまな学びを修めることのできる学校という意。
92	彦根東翔	ひこねとうしょう	現在の総合学科である「翔陽」の一文字を引き継ぎ、位置的に彦根市の東側に位置することから。
93	彦根統和	ひこねとうわ	統合して和していくようにとの願いをこめた。
94	彦根新志	ひこねにし	翔陽の前身である彦根西高校は彦根市・東近江市・米原市で「にしこう」の名前で親しまれていた高校。これからも総合学科として、新たな志を見い出して学べ、社会を担う人材を育成する高校となることを願い命名。
95	彦根西翔陽	ひこねにししょうよう	両方の校名を尊重したいと考えた。
96	彦根飛翔	ひこねひしょう	総合学科としての「翔」の文字を受け継ぎ、さらに大きく飛び立ち発展する。
97	彦根緑ヶ丘	ひこねみどりがおか	緑あふれる豊かな自然を満喫するイメージの校名を考えた。
98	彦根南	ひこねみなみ	校名を変えなければならないのであれば、かつての校名に戻してはどうか。
99	彦根南総合	ひこねみなみそうごう	創設当時の「南高」と総合学科の両方の名を入れた。
100	ひこね未来	ひこねみらい	彦根の明るい未来を切り拓く人材が育成されることを願って付けた。
101	彦根未来	ひこねみらい	「未来」は、教育基本法の前文や滋賀県教育委員会の教育の指針における基本目標からとった。語感が明るく、柔らかく、老若男女誰にでも分かりやすく、書きやすく、言いやすい。
102	彦根明清	ひこねめいせい	明るく清く逞しい人に成長してくれることを願い、新校がすがすがしい風が吹く明るい学校であるようにと願って命名。
103	彦根明星	ひこねめいせい	明るく輝く人に成長してくれることを願い、明星＝金星の意を込めた新校名が、同じ総合学科である長浜北星と関連させ、明星とした。
104	彦根明豊	ひこねめいほう	コンセプトにある『いきいき・のびのび』明るい学校生活や、教育理念に謳われている「豊かな人間性」の育成を目指す学校として適切な校名。
105	彦根明芳	ひこねめいほう	明るく香り豊かな感じがするから。
106	彦根陽光	ひこねようこう	「彦根翔陽」の文字から「陽」とって付けた。明るく陽気な学校になればという願いで付けた。
107	彦根楽園	ひこねらくえん	楽園は楽しそうなイメージ。あまり勉強が好きではない人も学校に行きたくなくと思うから。
108	彦根流星	ひこねりゅうせい	学生の時期を輝く星のように明るく楽しく過ごしてほしいから。
109	彦根良知	ひこねりょうち	中江藤樹の言葉に「良知」がある。生徒が生れながらに備えた知能や潜在能力を伸ばし、心技体をバランスよく育み、世界に有為な人材として成長してくれることを希求して命名。
110	彦根黎明	ひこねれいめい	「新しいことが始まる」という意味どおり、新しい学校が始まり、成長していく姿を見つめていきたいという思いを込めた。
111	飛翔	ひしょう	2校の統合により、新校が高い理念を持ち、生徒が世界にはばたくような学校になってほしいから。
112	琵琶湖	びわこ	琵琶湖が近くにあるから。
113	びわこ	びわこ	滋賀を代表する高校の意。
114	びわこ総合	びわこそうごう	琵琶湖の近くの総合学科高校だから。
115	びわこ東	びわこひがし	母なる琵琶湖の東に位置し、日が昇り湖の西に沈む。「びわこ」とひらがなにすることで、和らぎの感じがする。
116	南彦根総合	みなみひこねそうごう	総合学科としてのアピール。最寄りのJR駅と同じにした方が場所をイメージしやすい。